説明書 No.NT-R1HA1311

nedius

# ハイタワーファン（タワー型扇風機）

品番
# NT-10R1HA

# 取扱説明書
（保証書付き）

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。**
必要なときに誰でも読めるところに、必ず保管してください。

お買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みください。
特に「**安全上のご注意**」は必ずお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、本説明書を必ずお読みください。

もくじ



日本国内用　FOR USE IN JAPAN ONLY

★長年ご使用の扇風機の点検を！
長年ご使用の扇風機では、モータ、電源コード、コンデンサーなどの電気部品の経年劣化による発煙・発火の恐れがあります。
ご使用前には必ずご確認いただき、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止してください。

| このような症状はありませんか？ | ●スイッチを入れてもハネが回らない。<br>●ハネは回るが、異常に遅いか、回転が不規則。<br>●回転するときに異常な音や振動がある。<br>●モータ部分が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。<br>●本体が変形している。 |
|---|---|

# 安全上のご注意

この扇風機は、ハネの回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の２つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告　取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。 | ⚠注意　取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容です。 |

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）

| | |
|---|---|
|  ⃠記号は、してはいけない『禁止』内容です。（左図は分解禁止） |  ●記号は、必ず実行する『強制』内容です。（左図はプラグを抜く） |

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚠警告

分解禁止

改造しない。
修理作業者以外の人は、分解・修理を絶対にしない。
＊火災や感電、ケガの原因になります。
＊修理は販売店または弊社「お客様相談室」へご相談ください。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
濡れた手で抜き差ししない。
＊不意に作動してケガをしたり、感電の原因になります。

禁止

吸気パネルをつけずに運転しない。
＊ケガの原因になります。

強制

電源は交流100V専用コンセントを使う。
＊交流100V以外の電源を使用すると、火災や感電の原因になります。

強制

異常・故障時にはすぐに使用を中止する。
＊発煙、発火、感電やケガの原因になります。すぐに電源プラグを抜いて、販売店または「お客様相談室」へご相談ください。
●スイッチを入れても運転しない。
●首振りが異常に遅いか不規則。
●運転中に異常な音がする。
●コードを触ると通電したりしなかったりする。
●焦げくさいにおいがする。
●その他の異常や故障がある。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
＊感電やショートして発火することがあります。

禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、束ねない。
＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

強制

電源プラグは根元まで確実に差込む。
＊差込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。

強制

電源プラグのほこりは定期的に清掃する。
＊プラグにほこりがたまると、火災や感電の原因になります。

水濡れ禁止

水につけたり、水をかけたりしない。
＊ショートや感電の恐れがあります。

強制

包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する。
＊誤ってかぶったとき窒息し死亡する恐れがあります。

# ⚠注意

| | | | |
|---|---|---|---|
|  禁止 | 次の場所では、使用しない。<br>●ガスレンジなど炎の近く ●引火性ガスのあるところ ●雨や水のかかるところ<br>＊ 炎の立ち消えや、引火による火災、感電の原因になります。 |  禁止 | 風を長時間、からだにあてない。<br>＊ 健康を害することがあります。<br>特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。 |
|  禁止 | 障害物（カーテンなど）の周囲や不安定な場所で使用しない。<br>＊転倒や転倒によるケガ、故障の原因になります。 |  接触禁止 | 保護ガードのスキマや可動部へ指などを入れない。<br>＊ケガをする恐れがあります。<br>特に小さなお子さまにはご注意ください。 |
|  強制 | 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する。<br>＊製品が倒れてケガをするする恐れがあります。 |  禁止 | 製品を引きずらない。<br>＊床や畳に傷がつく恐れがあります。 |
|  禁止 | スプレーをかけない。<br>（殺虫剤、掃除用、整髪用など）<br>＊樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。 |  禁止 | 製品を倒さない。<br>＊ 外装部品が割れてケガをしたり、故障や事故の原因になります。 |
|  プラグを抜く | 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。<br>＊ケガややけど、絶縁不良による感電、漏電火災の原因になります。 |  強制 | 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。<br>＊感電やショートして発火することがあります。 |

# 梱包内容

本体

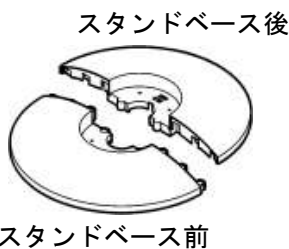
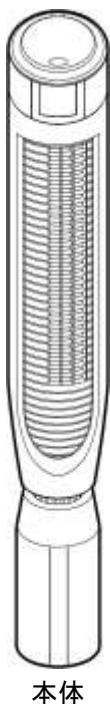
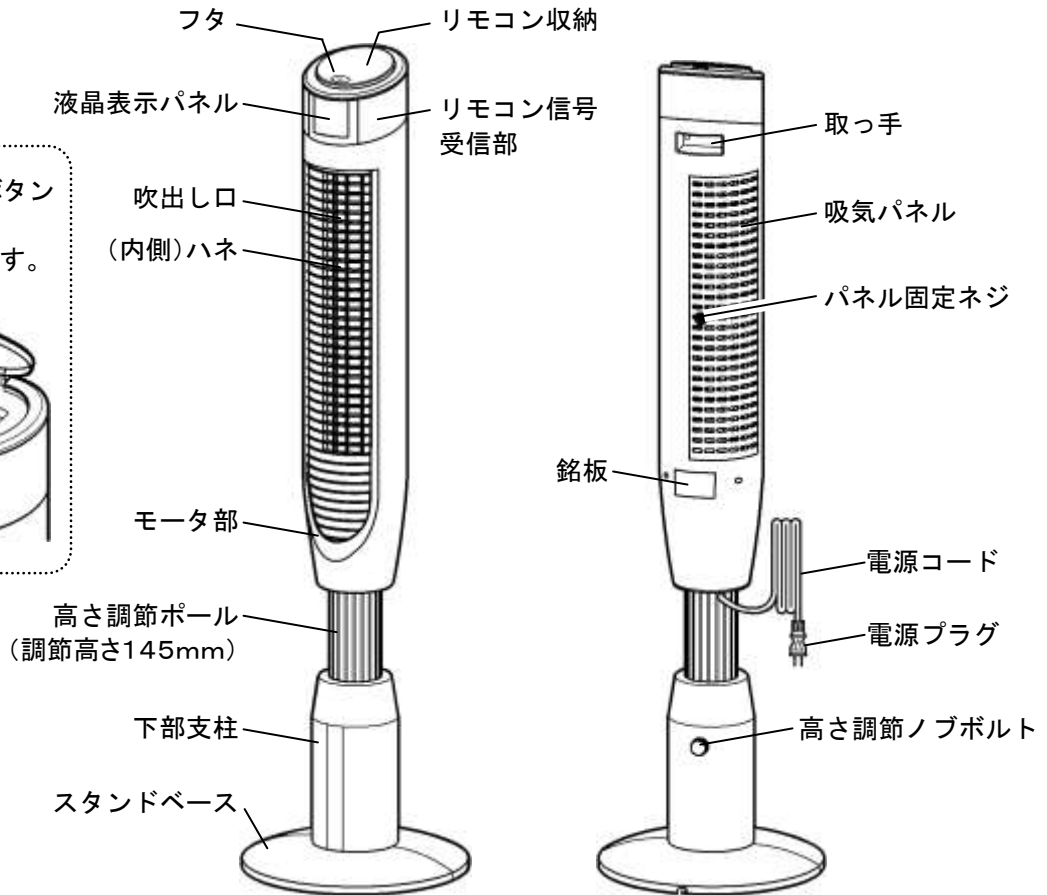
リモコン

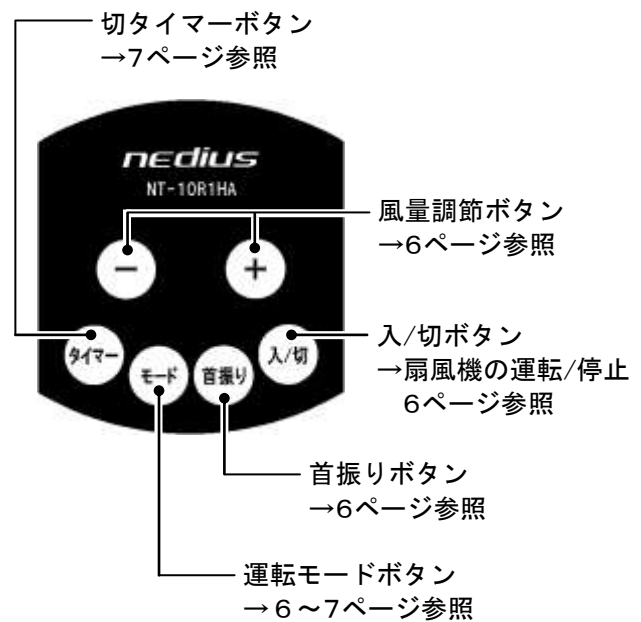
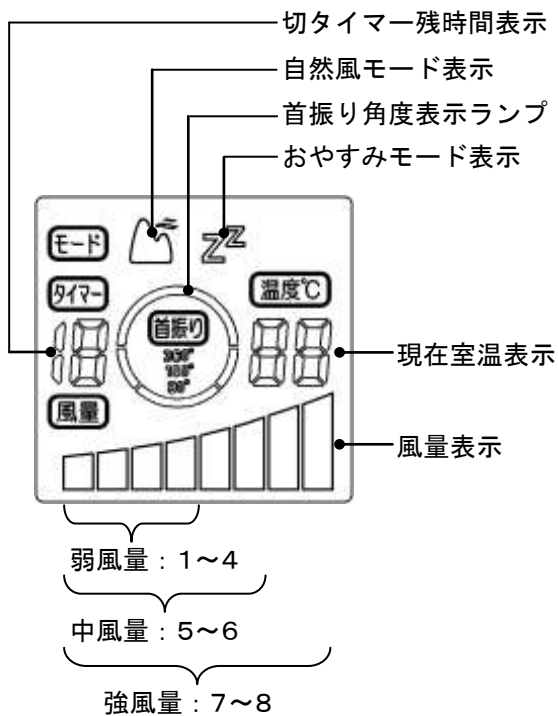
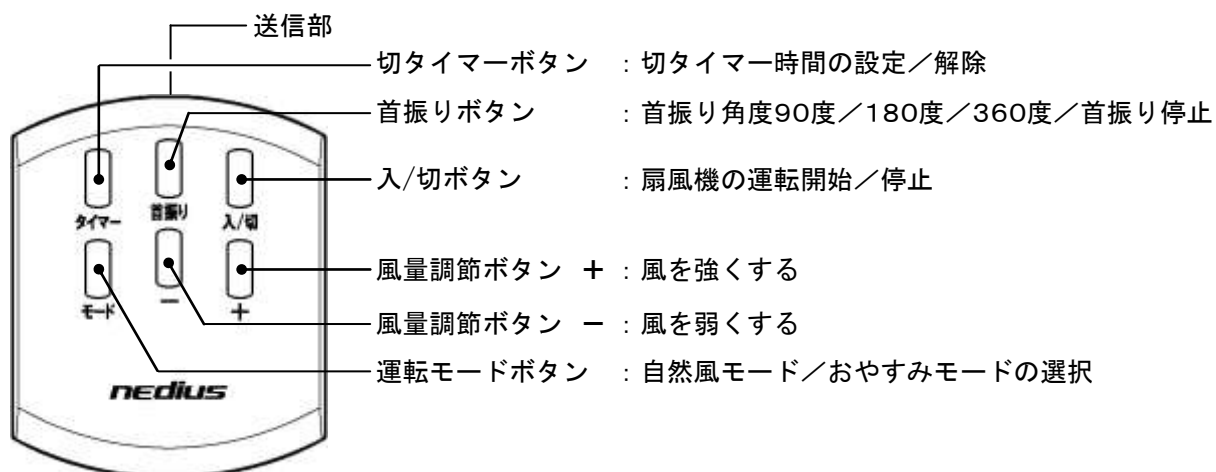
単４形乾電池
２本

取扱説明書
兼
保証書

スタンドベース後
スタンドベース前

# 各部の名称

フタ
リモコン収納
液晶表示パネル
リモコン信号受信部
吹出し口
（内側）ハネ
モータ部
高さ調節ポール（調節高さ145mm）
下部支柱
スタンドベース
取っ手
吸気パネル
パネル固定ネジ
銘板
電源コード
電源プラグ
高さ調節ノブボルト

フタを開けると、本体ボタンスイッチがあります。
リモコンも収納できます。

本体ボタンスイッチ

# パネルの表示と本体ボタンスイッチの名称

# リモコンボタンスイッチの名称と働き

## 組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。

## ⚠ 注 意

| | |
|---|---|
|  禁止 組み立て前、または組み立て中に電源プラグをコンセントに差込まない。<br>＊ケガの原因になります。 |  禁止 組み立て前に『高さ調節ノブボルト』をゆるめない。<br>＊下部支柱がバネの力で押し出されて、ケガの原因になります。 |

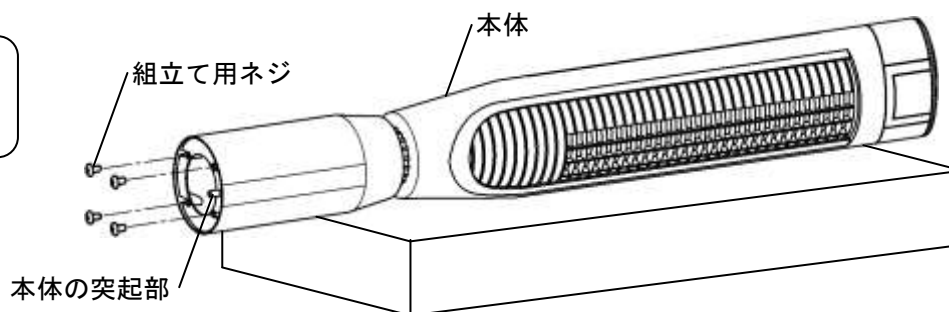
## 組み立て手順

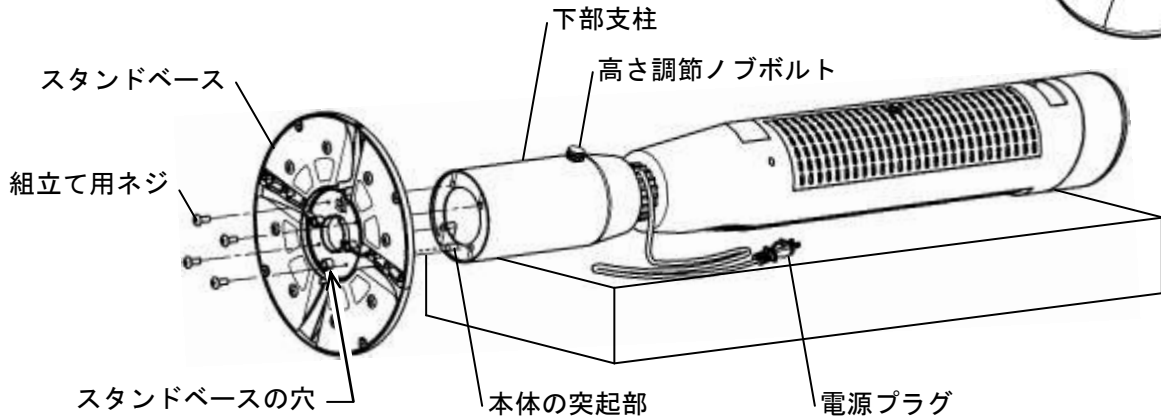
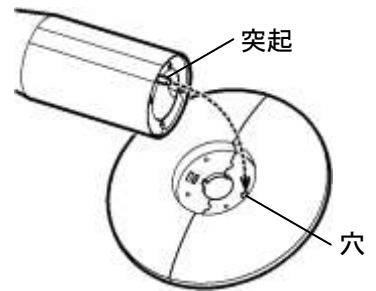
### （1）スタンドベース前と後を組み立てます。

図のように「スタンドベース前」と「スタンドベース後」を合わせて、はめ込みます。

### （2）本体にスタンドベースを取付けます。

① 平らで安定した台の上に本体を横にして置き、本体底面についている付属の組立て用ネジ4本を外してください。

ご用意ください
プラスドライバー

② スタンドベースの穴に本体の突起部を合わせて挿入し、組立て用ネジ4本で確実に締付けてください。
※本体の高さ調節ノブボルトをゆるめると、下部支柱が動きます。
組立て完了まで、高さ調節ノブボルトを緩めないでください。

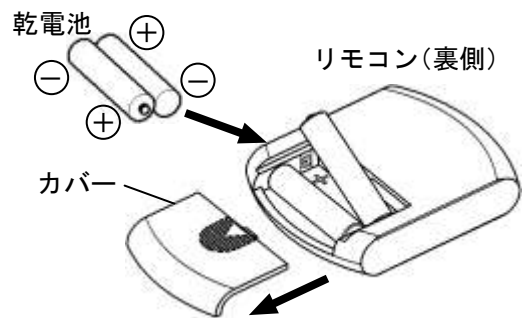
③ ハイタワーファンを立てると、組み立て完了です。

| 注記 | ハイタワーファンを立てる前に、高さ調節ノブボルトが確実に締まっているかご確認ください。ノブボルトが緩んでいると、本体の高さが不安定になり、ケガの原因になります。 |
|---|---|

ハイタワーファンを運転する前に、ハイタワーファンが正確に組み立てられ、スタンドベースにガタつきがなく安定していることを確認してください。

# 使い方

■電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差込んでください。
■電源プラグをコンセントに差込んだ状態では、とても小さな音（ジー音）がしたり操作パネルが少し熱くなることがありますが、待機電流がわずかに流れているためで、故障ではなく危険もありません。
■電源プラグの抜き差しは運転を停止してから行なってください。

## 初めてご使用になる前に

●本書に従って扇風機を組み立ててください。
●リモコンに乾電池を入れてください。
リモコン裏側のカバーをはずして、乾電池を＋－の印の通りに正しく入れてください。（単4形乾電池　DC1.5V　2本）
●リモコンは、ハイタワーファン本体上部に収納することができます。リモコン紛失防止のためご利用ください。

| 注記 | ①電池は、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。<br>②電池は、使い方を誤ると電池の液漏れでリモコン内部が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。電池を交換するときは、2本とも新しい同じ種類の電池を使ってください。<br>③長期間使用しない場合は、リモコンに電池を入れないでください。<br>液漏れにより故障することがあります。 |
|---|---|

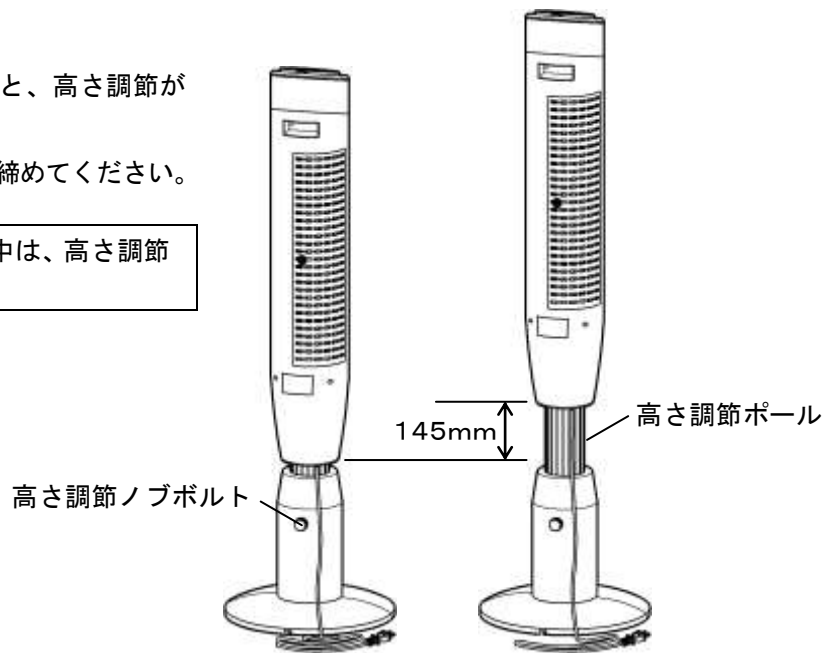
## （1）本体フタの開け方

フタのくぼんだ箇所を軽く押し下げると、反発力でフタが少し浮きますので、手で開けることができます。

### （2）高さ調節

① 高さ調節ノブボルトをゆるめると、高さ調節ができます。

② 調節後は､ノブボルトをしっかり締めてください。

| 注記 | ハイタワーファンの運転中は、高さ調節をしないでください。 |
|---|---|

## 本体ボタンおよびリモコンの操作とパネルの表示

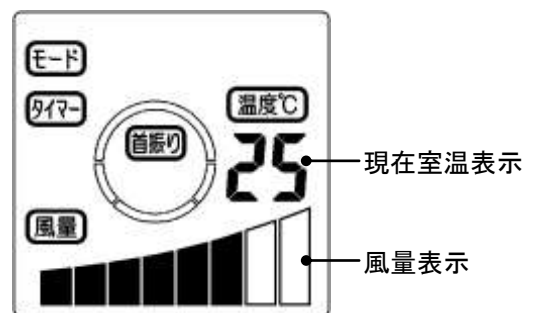
### （1）入／切ボタン

① ボタンを押すと電源が入り、初回は風量1で運転を開始します。2回目以降は、前回停止したときの風量で運転を開始します。

② パネルに現在室温が表示され､バックライトがしばらくの間点灯します。

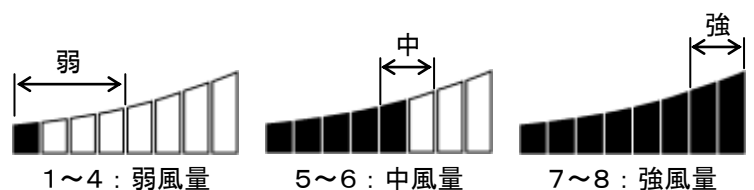
③ 風量は、パネルに8段階で点灯表示します。

④ 運転中に入/切ボタンを押すと、運転を停止します。

モード
タイマー
温度℃
首振り
25
現在室温表示
風量
風量表示

### （2）風量調節ボタン＋ー

① １回押すごとに風量が切替わります。
＋ボタン：風を強くする
ーボタン：風を弱くする

② 風量はパネルに8段階で点灯表示されます。

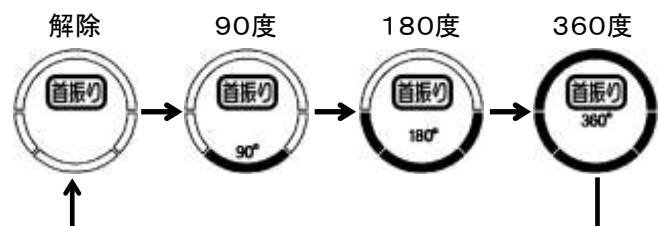
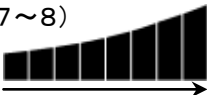
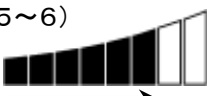
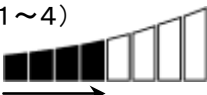
1～4：弱風量　5～6：中風量　7～8：強風量

※弱、中、強風量は、自然風モードやおやすみモード運転時の自動動作する風量段階を表します。

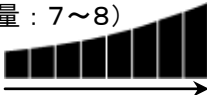
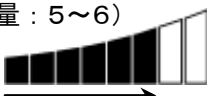
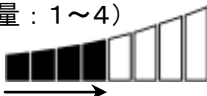
### （3）首振りボタン

① 首振り角度の設定と解除ができます。

② 首振り角度は、3段階です。
・左右に90度
・左右に180度
・360度旋回

③ 首振り運転中は､パネルの首振りランプが点灯します。

解除　90度　180度　360度

### （4）運転モードボタン

ボタンを押すごとに｢自然風｣→｢おやすみ｣→｢連続運転｣と運転モードが切替わります。

## ≪自然風モード≫

① 「自然風モード」は、自然の風のように風量の強弱を自動制御します。

② 「自然風モード」で運転中は、パネルに マークが点灯します。

③ 運転モードボタンを押した時の運転風量により、次の「強」「中」「弱」3つの風量サイクルで運転します。

運転風量　風量表示ランプ　　　　　　　　　　　　風量サイクル

強（風量：7～8）

1～8までカウントアップ点灯を繰り返します。

中（風量：5～6）

1～6までカウントアップ点灯を繰り返します。

弱（風量：1～4）

1～4までカウントアップ点灯を繰り返します。

## ≪おやすみモード≫

① 「おやすみモード」は、設定30分後に、風量を1段階弱くします。（強→中、中→弱、弱は変化なし）

② 「おやすみモード」で運転中は、パネルに z^z マークが点灯します。

③ 「おやすみモード」の風量サイクルは、自然風モードと同じサイクルです。

④ 運転モードボタンを押した時の運転風量により、下記の「強」「中」「弱」3つの動作で運転します。

⑤ 切タイマーと組み合わせると、おやすみ中の運転停止が設定できます。

⑥ 切タイマーを設定しないときは、入/切ボタンを押すまで停止しません。

運転風量　　風量表示ランプ　　　　　　「おやすみモード」動作

強（風量：7～8）　1～8までカウントアップ点灯を繰り返します。

自然風「強」（30分間）→自然風「中」
※切タイマー設定の場合、残り時間運転後→停止。

中（風量：5～6）

1～6までカウントアップ点灯を繰り返します。

自然風「中」（30分間）→自然風「弱」
※切タイマー設定の場合、残り時間運転後→停止。

弱（風量：1～4）

1～4までカウントアップ点灯を繰り返します。

自然風「弱」※切タイマー設定の場合、残り時間運転後→停止。

≪設定例≫
おやすみモード、　首振り：90度
切タイマー：3時間、風量：4（弱風量）

## （5）切タイマーボタン

① 切タイマーボタンを押すと、1～12時間の範囲で切タイマーを設定できます。

② 切タイマーボタンを1回押すごとに、切タイマー設定が1時間増加します。

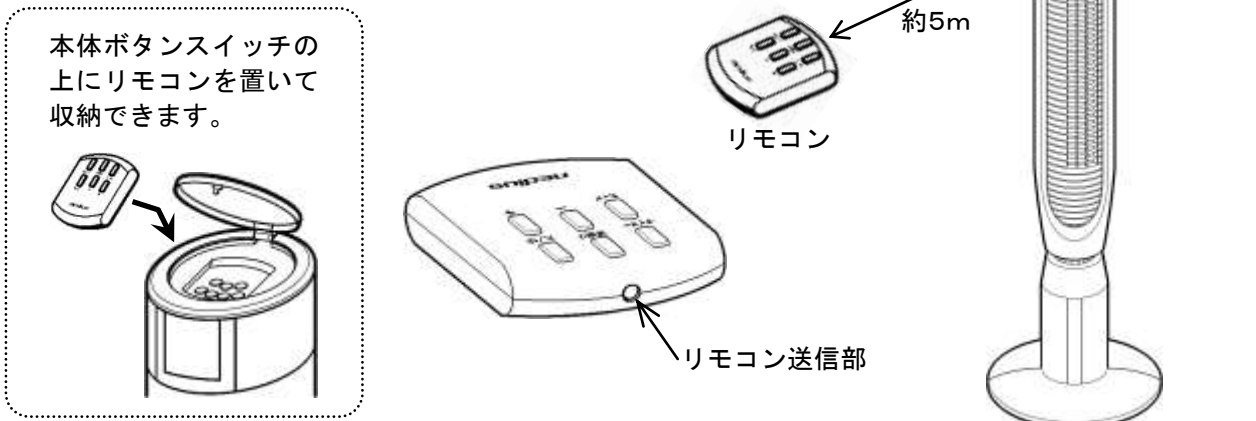
**1→ 2→ 3・・・・10→ 11→ 12→ 解除**

切タイマー時間表示

③ 切タイマーの設定時間はパネルに点灯表示され、1時間毎に残り時間が更新されます。
切タイマーの残り時間が無くなれば、扇風機が停止します。

## （6）リモコンの使い方と保管

リモコン送信部を、本体受信部に向けて操作してください。
リモコンの送信可能範囲は、受信部から約5mです。

本体ボタンスイッチの上にリモコンを置いて収納できます。

**注記**
①リモコンと本体の受信部との間に障害物があると、送受信できない場合があります。
②電池が消耗すると、送信可能範囲が狭くなります。
③リモコンを湿度の多い所や、直射日光の当たる所に置かないでください。
④リモコンを落としたり、投げたり、強い衝撃を与えたり、水などで濡らさないでください。
＊リモコンが変形したり、基板の錆び、ホコリの侵入などにより、誤動作やスイッチ接触不良の原因になります。
⑤電池は、使い方を誤ると電池の液漏れでリモコン内部が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。
●電池の交換は、2本とも同時にしてください。●交換する電池は、新しい同じ種類のものを使ってください。●電池を充電したり、分解、加熱をしないでください。●電池の溶液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
⑥長期間使わないときは､リモコンから電池を必ず抜いて保管してください。＊液漏れ防止のため。

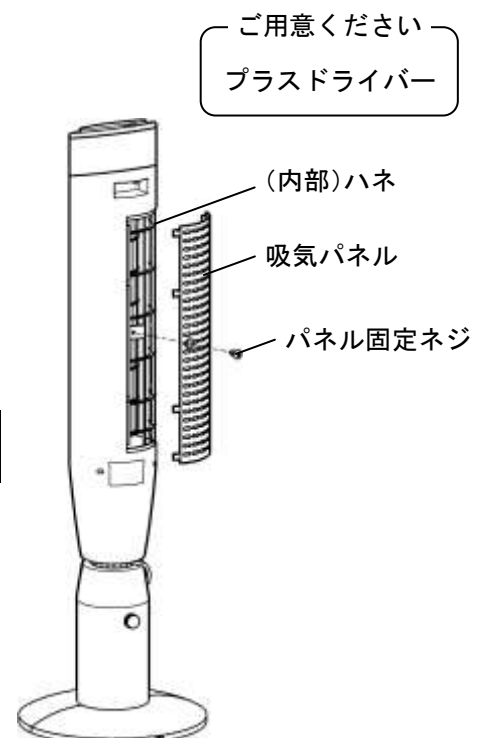
# お手入れと保管

●お手入れの前に、扇風機を停止して、コンセントから電源プラグを抜いてください。
●吹き出し口・吸気パネル・ハネなどにほこりが大量に付着すると、異常音・振動・モータ過熱などの原因になりますので、定期的に清掃してください。

① ハイタワーファン表面のほこりは、掃除機で吸い取ってください。
② 吸気パネルやハネの汚れは､中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した柔らかい布を堅く絞って拭き取り、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないように拭きとってください。
③ 可動部分への注油の必要はありません。

**注記** 化学ぞうきんなどを使用するときは、その注意書に従ってご使用ください。

●扇風機を長期間利用しない場合は､清潔で乾燥した場所に保管するか、または組み立てたときと逆の手順でスタンドベースなどを取外し、梱包箱に収納してください。

ご用意ください
プラスドライバー

# こんなときは（故障かな？と思ったら）

修理依頼やお問合せの前に、もう一度お調べください。

| ご確認ください | | |
|---|---|---|
| 症　状 | 調べるところ | 直し方 |
| 運転しない | 電源プラグが抜けていませんか？ | 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差込んでください。 |
| リモコンで操作できない | 電池が古くなっていませんか？ | 電池を2本とも交換してください。（単4形乾電池） |
| | 電池の⊕⊖が逆になっていませんか？ | 電池を正しい向きに入れてください。 |
| | リモコンと本体が離れすぎていませんか？ | 受信可能範囲内で操作してください。電池が消耗していると送信距離が短くなります。 |
| | 受信部や送信部が汚れていませんか？ | 汚れを取除いてください。 |
| 運転途中で止まった | 自然風モードではないですか？ | 自然風モードは、運転と停止を繰り返しますので、ハネが止まるときもありますが故障ではありません。 |
| | 電源ブレーカーが落ちていませんか？ | ブレーカーが落ちた原因を解消してください。 |
| 運転中に異常音や振動がある | 高さ調節ノブボルトがゆるんでいませんか？ | ノブボルトを確実に締付けてください。 |
| | ハネに吸気パネルが当たっていませんか？ | 吸気パネルを正しく取付けてください。 |
| | パネル固定ネジがゆるんでいませんか？ | ネジをしっかり締付けてください。 |
| | ハネにほこりがたまっていませんか？ | ハネを掃除してください。 |

●上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。
●首振りモータの寿命は、通常使用で約3年です。首振りモータの交換は有償で承ります。お客様相談室へご相談ください。

# 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

## （本体への表示内容）

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体に西暦４桁で表示してあります）

| | |
|---|---|
|  | ※【設計上の標準使用期間】6年<br>設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。 |

## （設計上の標準使用期間とは）

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は､無償保証期間とは異なります｡また､偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　日本工業規格　JIS　C9921－1による

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 環境条件 | 電圧 | 100V | 機器の定格電圧による |
| | 周波数 | 50Hzおよび60Hz | |
| | 温度 | 30℃ | JIS　C9601参照 |
| | 湿度 | 65% | JIS　Z　8703参照 |
| | 設置条件 | 標準設置 | 機器の取扱説明書による |
| 負荷条件 | | 定格負荷(風速) | 機器の取扱説明書による |
| 想定時間等 | 1日あたりの使用時間 | 8(h/日) | |
| | 1日使用回数 | 5(回/日) | |
| | 1年間の使用日数 | 110(日/年) | |
| | スイッチ操作回数 | 550(回/年) | |
| | 首振り運転の割合 | 100(%) | |

●経年劣化とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

# 仕　様

<table>
<tr><td>品番</td><td colspan="4">NT-10R1HA</td><td colspan="2">電動首振り設定</td><td>固定、自動</td></tr>
<tr><td>風量調節方法</td><td colspan="4">押しボタンスイッチ、8段階調整</td><td colspan="2" rowspan="3">回転角度設定</td><td rowspan="3">90度(左右各45度)<br>180度(左右各90度)<br>360度</td></tr>
<tr><td>ハネ径・形式</td><td colspan="4">直径10cm.　クロスフローファン</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="4">100V</td></tr>
<tr><td>運転風量</td><td colspan="2">8(最強)</td><td colspan="2">1(最弱)</td><td colspan="2">電源コード長さ</td><td>3m(機外長)</td></tr>
<tr><td>周波数</td><td>50Hz</td><td>60Hz</td><td>50Hz</td><td>60Hz</td><td rowspan="3">本体寸法</td><td>幅</td><td>360mm</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>31W</td><td>36W</td><td>12.5W</td><td>14W</td><td>奥行</td><td>360mm</td></tr>
<tr><td>回転数　($min^{-1}$)</td><td>1290</td><td>1355</td><td>580</td><td>580</td><td>高さ</td><td>1205～1350mm</td></tr>
<tr><td>風速　(m/min)</td><td>204</td><td>209</td><td>65</td><td>65</td><td colspan="2">質量</td><td>7.3kg</td></tr>
<tr><td>風量($m^3$/min)</td><td>15</td><td>16</td><td>5</td><td>5</td><td colspan="2" rowspan="2">付属品</td><td rowspan="2">ワイヤレスリモコン<br>単4形電池(2個)<br>取扱説明書</td></tr>
<tr><td>騒音　(dB)</td><td>48</td><td>50</td><td>38</td><td>38</td></tr>
</table>

# 製品保証書　（持込修理）

| 品 番 NT-10R1HA | 製品保証期間 | 本体　お買い上げ日より1年間 |
|---|---|---|
| | ※お買い上げ日 | 西暦　　　年　　月　　日 |

| ※お客様 | 〒　　　TEL<br>ご住所 |
|---|---|
| | お名前　　　　　　様 |
| ※販売店 | 所在地　〒<br>店　名　　　　印<br>ＴＥＬ |

※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。

無料修理規定

1. 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は､本書をご提示の上､お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。
2. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。
   （Ａ）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （Ｂ）お買い上げ後の落下等および輸送上の故障および損傷。
   （Ｃ）火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変や異常電圧などによる故障および損傷。
   （Ｄ）一般的な用途以外に使用された場合の故障および損傷。
   （Ｅ）本書のご提示がない場合。
   （Ｆ）本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4. ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。
5. 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。

## ⚠ 注　意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。

＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。

＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

## ●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社スイデン　奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘3-26　お客様相談室 0120-285-240